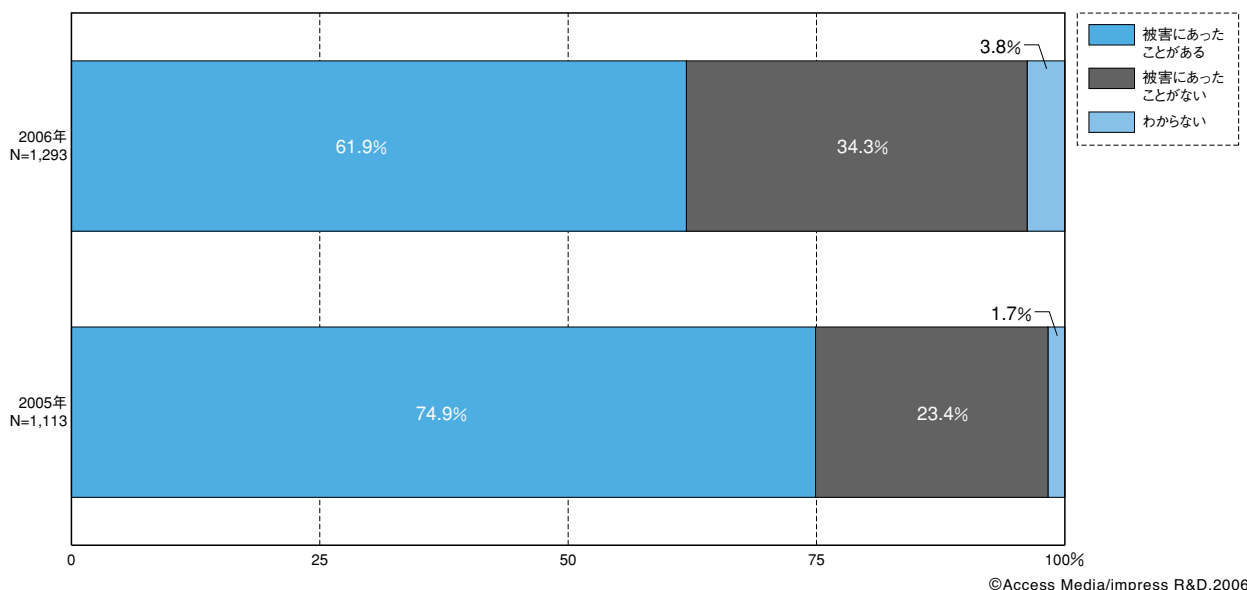


## セキュリティ被害

### セキュリティ被害は61.9%で2005年より13%減

資料3-5-1 セキュリティ被害の有無 [2005年-2006年]



セキュリティ被害の有無について2005年と比べた結果、2006年は「被害にあったことがない」が34.3%で2005年より1割増となっている。これは、昨今のウイルス騒動や、個人情報漏えいなどの事件が相次いだことから、企業側のセキュリティ対策が強化され管理された結果と推測される。

### 大規模企業ほどセキュリティ被害率は高い

資料3-5-2 セキュリティ被害の内容（複数回答） [従業員規模別]

	1-49人 N=428	50-99人 N=157	100-499人 N=283	500-999人 N=125	1,000-4,999人 N=162	5,000人以上 N=138	全体 N=1,293
ウイルス感染	32.7%	51.0%	51.9%	65.6%	56.2%	83.3%	50.7%
ワーム系悪質プログラム被害	7.5%	34.4%	37.5%	55.2%	46.3%	75.4%	34.0%
不正アクセスによるウイルス感染	5.8%	17.2%	7.1%	19.2%	5.6%	14.5%	9.7%
不正アクセスによるサーバーダウン、機能停止	3.5%	8.9%	3.9%	11.2%	10.5%	11.6%	6.7%
不正アクセスによる踏み台のための侵入	2.6%	5.1%	2.5%	8.8%	7.4%	0.0%	3.8%
掲示板、コミュニティにおけるネット告発	0.5%	1.3%	0.0%	4.0%	9.3%	16.7%	3.6%
不正アクセスによるデータの改ざん、破壊	1.9%	3.2%	6.4%	4.0%	4.3%	1.4%	3.5%
情報漏えい、盗み見	0.5%	2.5%	4.9%	5.6%	3.7%	6.5%	3.2%
知的財産権（商標、ロゴ、著作物等）の侵害	0.9%	0.0%	4.2%	3.2%	11.1%	0.7%	3.0%
不正アクセスによるデータ情報の情報漏えい、盗み見	0.0%	0.0%	2.1%	6.4%	2.5%	8.0%	2.2%
不正アクセスによるそれ以外の被害	1.6%	0.6%	0.0%	10.4%	1.9%	1.4%	2.0%
不正アクセスによるデータの第三者への流出	0.0%	0.0%	1.8%	3.2%	6.2%	2.2%	1.7%
不正アクセス以外のデータの改ざん	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.7%	0.2%
盗聴（ネットワーク伝送中の情報漏えい、盗み見）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	0.2%
その他	3.3%	3.2%	0.4%	0.0%	7.4%	0.0%	2.5%
実際の被害にあったことはない	57.2%	26.8%	36.7%	7.2%	17.9%	10.1%	34.3%
わからない	0.9%	4.5%	1.1%	11.2%	9.3%	4.3%	3.8%

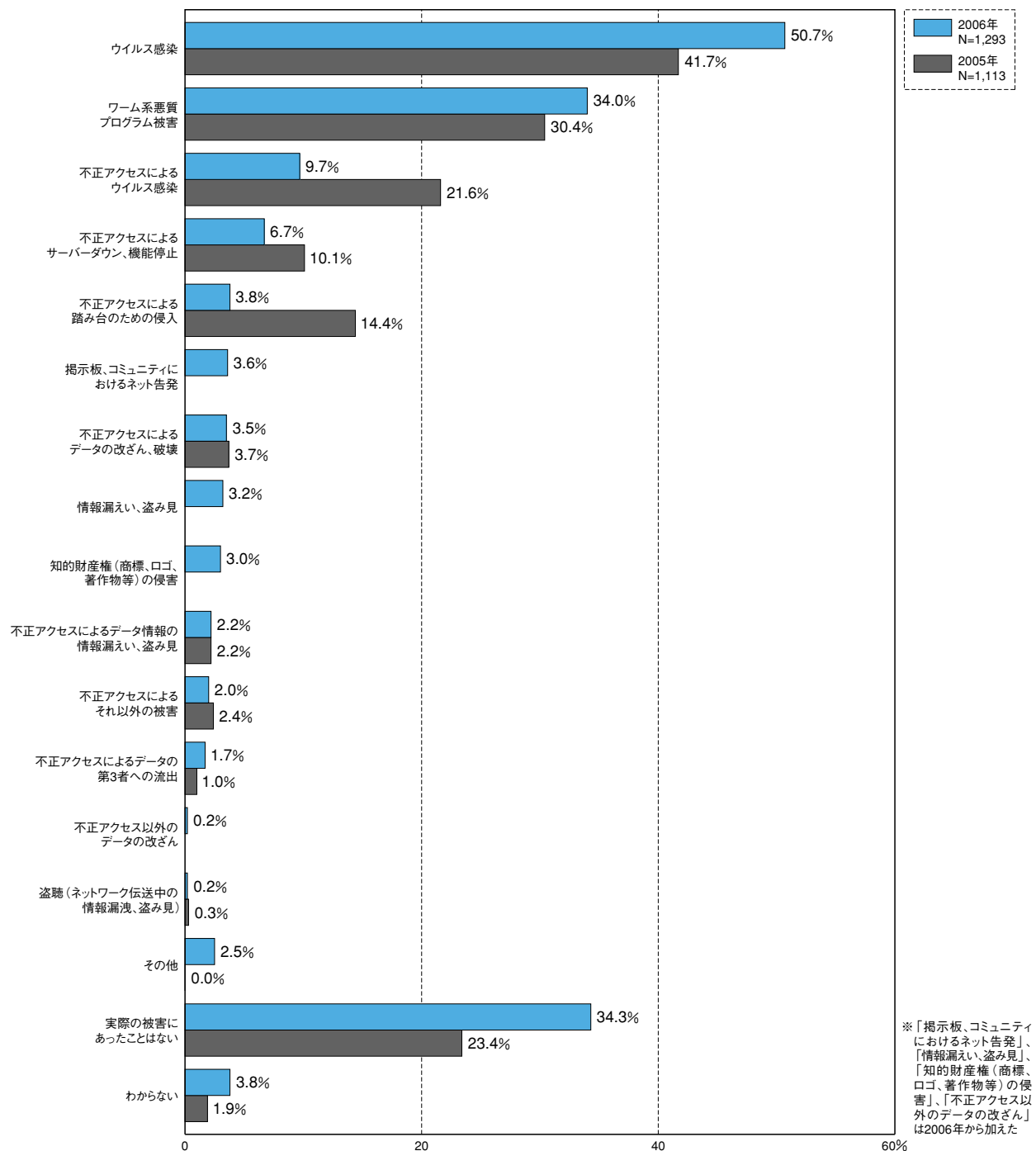
◎Access Media/impress R&D,2006

従業員規模別でみたセキュリティ被害の内容であるが、大規模企業ほど被害率が高く、特に「ウイルス感染」、「ワーム系悪質プログラム被害」などが高い。中でも「製造業」、「金融・保険業」は、被害比率が高い。また2006年より選択肢に加えた「掲示板、コミュニティにおけるネット告発」の被害比率は、大規模が大きい。

# セキュリティ被害

## メール機能を悪用したウイルス感染、ワーム被害が高い

資料3-5-3 セキュリティ被害の内容（複数回答）[2005年－2006年]



©Access Media/impress R&D,2006

セキュリティ被害の内容は、トップが「ウイルス感染」(50.7%)、次が「ワーム系悪質プログラム被害」(34.0%)とメール関連被害が2005年同様高い。なお、2006年は不正アクセスによる被害は減少している。ファイアウォールやセキュリティ管理が強化されたためか、または、被害を認識していないなどが考えられる。



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)